

精神科臨床における カウンセリングとはなにか —生存と実存について—

現代の社会において、心理の専門家に求められることは多種多様に広がっています。精神科臨床の内からも外からもそうした流れを受ける今だからこそ、私たちが臨床で大切にしている「カウンセリング」という関わりについて改めて考えたいと思います。

今回はカウンセリングに関する著書も出版されている東畠開人先生をお招きして、変化していく現場の中で私たちがどう生き延びるかを考えていきます。

【日時】 2026年2月1日（日） 10時30分～16時30分

（受付10時開始）

10：30～12：30 講義

12：30～13：30 休憩

13：30～16：30 事例検討

【場所】 愛知県精神医療センター二階 大会議室

（地下鉄名城線「自由ヶ丘」駅より徒歩10分）

【参加費】 4800 円

※臨床心理士資格更新ポイント申請予定

申込はメールにて承ります。詳細は次ページをご参照ください。

講師 東畠 開人 先生（白金高輪カウンセリングルーム）

～プロフィール～

京都大学教育学部卒業、同大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。
博士（教育学）。専門は臨床心理学・精神分析・医療人類学。

主な著書に

『居るのはつらいよーケアとセラピーについての覚え書』（医学書院 2019）

『聞く技術 聞いてもらう技術』（ちくま新書 2022）

『カウンセリングとは何か変化するということ』（講談社現代新書 2025）

など多数。



申し込み手続きについて

【参加資格】 臨床心理士・医師

【定員】 30名程度(先着順)

【参加費】 4800円

【申込方法】

①ご所属、②お名前、③臨床心理士番号、④メールアドレスを記載し、
下記のメールアドレスにお送りください。追って、参加の可否をご連絡します。

ご参加の方には、メールにて参加費の振込先をご案内します。

土日祝日を除き、7日を過ぎても返信がない場合は、お手数ですが、再度メールをお送りください。

*迷惑メールフォルダに届いている場合もありますので、ご確認ください。

申込期限:2026年1月18日(日)

【その他】

主催者側の事情により開催できない場合、参加費(振込手数料を除く)をご返金いたします。

参加者ご自身の事情により受講できなかった場合、参加費のご返金はいたしかねますので、
ご了承ください。ご不明な点がございましたら、以下のメールアドレスにお問い合わせください。

【メール・お問い合わせ先】

愛知県精神医療センター内 城山心理臨床研究会

apmc_cp_seminor@yahoo.co.jp

(昨年度のワークショップとはアドレスが異なりますので、
お間違のないようご注意ください。)

城山心理臨床研究会